

# 地デジ移行まで、あと2年



地デジをPRする組合員

山梨県電機商業組合(天野一光理事長)は、7月24日中央市にある「オギノリパーシテイ」において、「地上デジタル放送全国統一キャンペーン」の推進活動を行った。

2011年7月24日までにアナログ放送は終了し、地上デジ

タル放送に移行するまで2年となった。

最近では、テレビ番組内においても右端に「アナログ」と標示され、地デジへの移行を進めるとともに注意を促している。

また、国は平成21年度の補正予算案にエコポイント制度の導入を盛り込んだ。対象となる冷蔵庫、エアコンは5%のポイントが付与されるが、デジタルテレビはさらに5%を追加した。それにリサイクルにおける3%の還元を加えると、デジタルテレビには13%ものポイントが付与されている。2009年3月時点での地デジ対応テレビやチューナーの世帯普及率は60.7%になった。

しかし、共同受信設備を持つマンションなど集合住宅では、設備の改修工事など金銭負担の問題もあり対応の遅れが目立っている。

地デジ相談コーナーには、デジタルテレビを買ったが、映らない。「ケーブルテレビだが、地デジ対応はどうしたらよいか。」等の相談が数多く寄せられた。

「エコポイント効果もあり、商品待ちの場合も多い。今後ますます地デジ対応テレビへの需要が高まり資材不足や設定工事が追いつかなくなる場合も考えられる。

また、山梨県内はケーブルテレビの加入率が高いため、地デジ対応をしなくてもそのまま受信できると考えている世帯やもう少し間近になったらと考えている世帯も多い。そのため、普及率は、全国的に若干下回っている。移行までにあと2年、早めの対応をPRしながらお客様に迷惑をかけず地デジへ移行できるように努めていきたい。」と天野理事長は、語った。

安心して取付や操作等の相談ができ、なおかつ低額料金のシステム「デジタル110番山梨」に是非、お気軽に、ご相談下さい。



相談に対応する関係者